

青藍会（医学部医学科同窓会）

会長 桜井 えつ さくらい えつ

世界中で猛威を振るうコロナウイルスと人間の英知との戦いの最中、新しく卒業生 102 名が青藍会の正会員として加わり、新入生 114 名（男子 71 名・女子 43 名）を準会員として迎えました。ただ、従来のような晴れやかな卒業式も入学式も開かれず、残念な春になりました。先輩の気持ちとして文書で祝福をいたしました。この若者たちの未来が安穩であることを願っています。



さて、今期の青藍会からの活動報告をさせていただきます。

12 月には青藍会報 94 号を発刊しました。スリムにはなりましたが、会員の方からの投稿が増えた上に広告・寄付など暖かい支援もあり、かなり満足できる会報であったように思います。年明の 1 月 6 日には「Student Doctor 認定証授与式および白衣授与」で例年同様青藍会のネーム入りの白衣を贈りました。購入のための資金は今回も東京支部の同窓の方からの寄付でした。2 月 18 日に優秀な研究者に贈る青藍会賞の選考委員会が開かれました。AWA サポートセンター准教授の石澤有紀先生が選ばれました。論文の題目は「新規大動脈解離モデルマウスの確立と、動物実験およびデータベース解析を用いた薬効評価」でした。今後世界に届く研究を期待して賞金の増額をはじめ応募規定の再検討中です。財務的には、会費の納入アップや多くの医療機関からいただいた広告・寄付などにより、一昨年度単年度黒字になり、一息つきました。有効に使うこととして、医学科の学生さんとその保護者の方たちに青藍会の情報を提供する目的で「青藍会だより」を創刊しました。また医学部医学科へ支援金として寄付を行いました。学生さんが、臨床実習での受け持ち患者の学習や症例提示の準備や医師国家試験対策等で使用する自己学習の場所がなく苦勞されていたとのことで、支援金は臨床実習学生用学習室の整備に使われました。令和元年度も事務局の努力の成果などにより黒字決算になりました。まだ正式な承認は得られていない段階ですが、コロナの嵐の中で十分な勉強ができない学生さんの遠隔授業推進などの一助とするために支援する予定です。額は些少ですが、おそらく不安の毎日を過ごされている学生さんの心の支えになることを期待しています。

11 月に予定されている青藍会講演会の講師には地域医療に貢献され、第 2 回日本医師会赤ひげ大賞を受賞されております白石吉彦先生にご講演お願いしご承諾をいただいております。コロナが終息し無事開催できますことを願っております。

徳島大学医学部医学科同窓会

寄贈 青藍会

[illegible]